

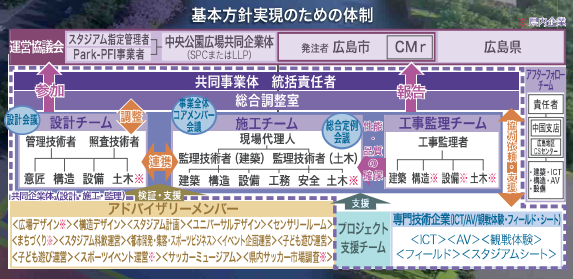
『希望の翼』と『交歓の環』 — 平和都市に相応しいみんながつながるスタジアムパーク —



平和都市広島中央公園は戦後、建築家 丹下健三氏によって作成された広島復興計画に基づく、「平和の軸線」上にあります。平和記念公園が平和を祈る場であるならば、この場所は平和であることに喜び、楽しむ公園になればと考えます。基本計画の広島県民・市民が集う場所、活性化につながる象徴的な空間として希望の翼を持つスタジアムを提案します。

HOPE LINK 希望を交歓する環

- 総合力** ワークショップ経験豊富なチームを構成し、人やまちとつなぐ市民参加型の施設づくりを行います
- 実現力** スタジアム施設のスペシャリストと具内企業が連携し、新スタジアムに込められた想いをかなえます
- 継続力** 設計段階からお引渡し後まで一貫した企業がサポートし、共にはぐくみ愛され続ける施設にします



「街なかスタジアム」の実現 開かれた回遊型スタジアムパーク

大きくまちに開かれたスタジアム
スタジアムを広場、南東、南西側に大きく開いて賑わいを発信し回遊性を高めます。まちの風景とも融和しながら、光や風が通る環境装置としても機能します。



「ダブルコンコース」の賑わいで広場とつながる
スタジアム2階パークコンコースは広場～スタジアム～河畔をつなぐ、公園全体の主動線となります。3階メインコンコースは収益化できる仕掛けを設え、「365日賑わいの絶えないスタジアムパーク」を目指します。
遊環構造による「ワクワク空間」の創出
驚きと発見の連続である「めまい空間」でスタジアムパークを形成し、「何度でも訪れたいくなる」ワクワクするスタジアムをつくります。



スタジアムと広場をつなぐダブルコンコースによる遊環構造

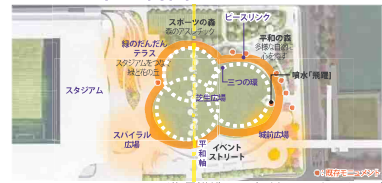
「みんなで作るサッカースタジアム」の実現 スタジアムパークがつなぐ『交歓の環』

スタジアムパークをまるごとミュージアム化
スタジアムパーク全体をミュージアム化することで、多くの人々が集まり、楽しみ、消費する事業性の高いスタジアムを目指します。スタジアムと広場を有機的につなぐ多機能化施設「サンプルタウン」が賑わいの中心になります。



賑わいの中心となる多機能化施設

相乗効果を生むフレキシビリティの高い計画
スタジアムと広場とをシームレスにつなぎ、多彩な広場・森・テラス・ストリートが相互に高め合い相乗効果をもたらす配置計画とします。拡張性と可変性を併せ持つ空間構成です。



遊環構造でつながるランドスケープ

「つかう」から「つくる」を考える共創アプローチ
県民、市民、企業といった利用者の視点から共に施設づくりを考えます。設計・施工段階だけでなく、完成後もスタジアムパークを永続的に成長させていきます。



賑わいを市民とともに作り上げるスパイラル広場と緑のだんだんテラス

「広島らしさ」の発信 みんなのシンボルとなる『希望の翼』

希望の翼—開放的で軽やかな屋根
軽やかで浮遊感のある屋根は、広島の新なるシンボル『希望の翼』となります。「三矢の教え」をモチーフとした張弦梁構造が開放感あるスタジアムを実現します。



三本の矢・弦・弓をモチーフとした「張弦キールガーダー」

水辺や緑と調和する新たなランドマーク
スタジアムから漏れる柔らかい光による水景の創出や、広場の緑とつながる有機的なデザインにより、やすらぎのある風景を創出し、県外からの来訪客にも強くアピールします。



水と緑をふわりとつむむ白い屋根

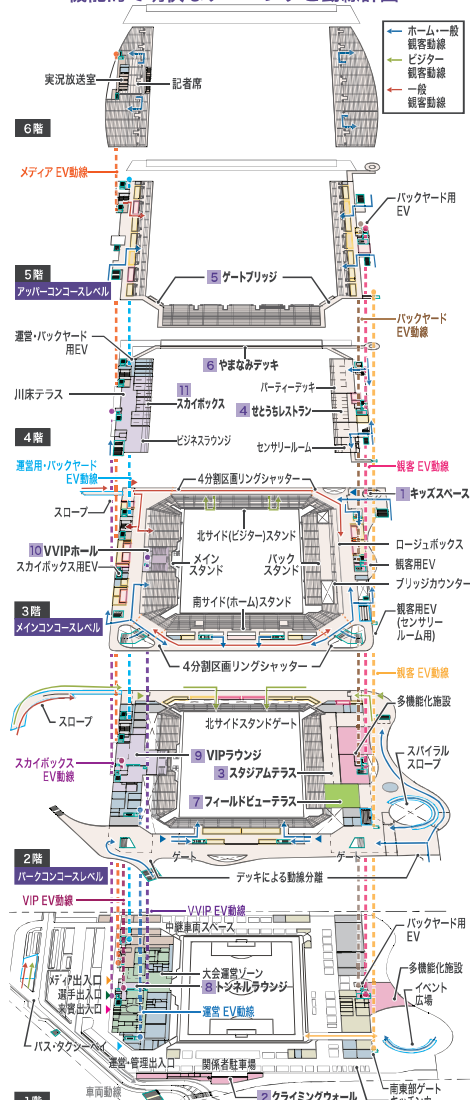
広島の歴史的遺産を尊重したデザイン
広島の歴史的背景を尊重し、広島城との調和に十分配慮したデザインです。広島ブランドを象徴するスタジアムパークを実現します。



ピースリンクを介して広場、緑、まちとつながる

平和軸を受止めるスタジアムパーク

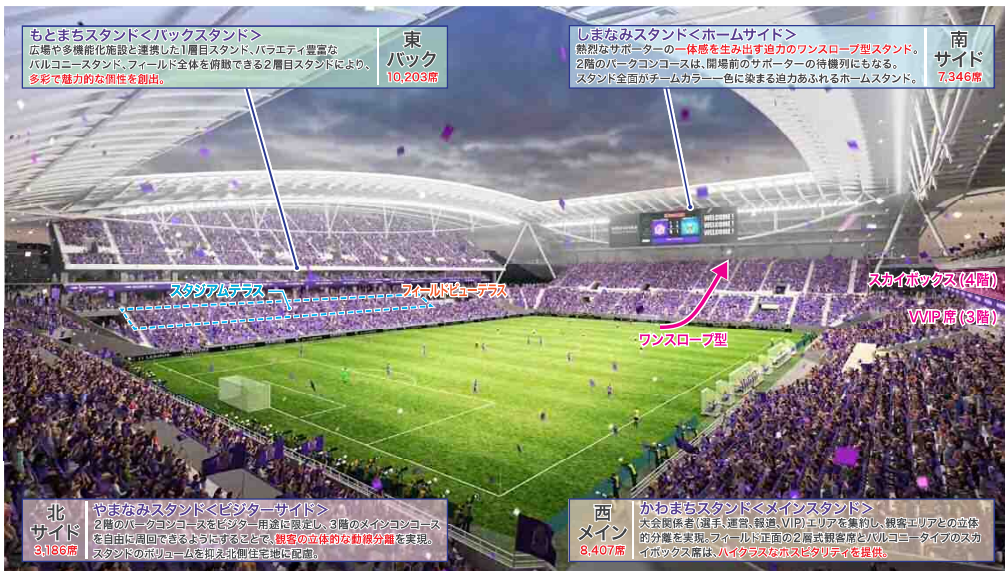
機能的で明かなゾーニングと動線計画



安心して共有できるスタジアムパーク空間

「顔認証+検温」ゲート
 専門チームを組成、認証取得をサポート
 先進デジタル・設備技術の導入
 深業外録音システム/スイッチ類のタッチレス化
 ハンドドライヤー/水はねが少ない衛生器具
 テラス・休憩室による安全な場所の創出
 デジタルサイネージによるどこでも観戦
 【ニューノーマル時代への対応】

誰もが自由に選べ、楽しめる観戦環境
 スロープ・ESC・ELVの適切な配置/いす、子連れ席、シニアゆとり席、聴覚障がい者用乗降を配慮に配置
 救護室、授乳室等の分散配置
 充実したセンサリールーム
 観客トイレの様々な工夫
 トイレ誘導表示/オストメイト、おむつ交換/フラッシュラップ/男女兼用移動トイレ/男女共用トイレ
 【ユニバーサルデザインへの対応】



1 川と広場とまちをつなぐダブルコンコース
多目的な利用が可能な「メインコンコース」

- 幅10mの3階メインコンコースは、ゲームデーにはスタンドをつなぐ観客のメイン動線になります。ノンゲームデーには、スタジアムツアーコースとして、通年利用できます。



いつでも通れる「パークコンコース」

- 2階レベルに、本川とスタジアムパークと広島城を回遊するパークコンコースを配置します。ゲームデーには、4つの入場ゲートをつなぐ待合空間になります。ノンゲームデーには、サンフレタウンと広場がつながる散歩路として、市民が日常利用できます。

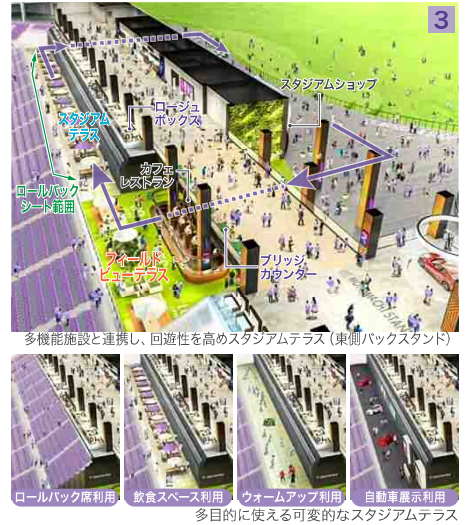


- 広場の園路から連続するパークコンコースに、賑わいの中心となるキッズスペース、クライミングウォールを配置します。この場所ならではの多様な体験や、自然あふれる景観を楽しめます。



2 広場とつながり多機能化施設と連携利用できるフレキシブル性の高いスタジアムテラス

- 変同性・拡張性のあるロールバックシートを東側に設置し、回遊しながらスタジアム内部と広場を自由に行き来が出来ます。
- スタジアムショップに面した奥行10m、長さ80mの「スタジアムテラス」は、飲食スペースやアマチュア選手の控えスペース、展示利用など、様々なシーンや使い方に対応できます。
- 平和学習利用や、カフェと連携したオープンテラス席として利用できる芝生の「フィールドビューテラス」を設けます。



次世代観戦環境を実現する総合演出技術

- 音 構造・設備一体となったスピーカーシステム**
 ●張梁に沿って指向性の高いスピーカーを設置し、観客席全体で最大再生音圧レベル100dB以上の高均斉度の音響環境を提供します。

- 光 国際水準の均斉度を誇る照明計画**
 ●フィールド全体で均斉度0.6以上の高水準な光環境とし、選手へのグレアを防止し、観客・TV中継への視認性の高めます。

- ICT 観戦環境の進化にも対応可能な情報インフラ**
 ●5G時代を見据えた、AR/VRなどの試合やイベント演出も可能な情報設備インフラに対応しています。

- 映像 場所を選ばない新しい”遊覧観戦”体験**
 ●広場にしながらパブリックビューイングもできる4K・8K大型ビューモニターを設置します。
 ●高密度 Wi-Fiの投資整備により、どこでも観戦が可能な自由で楽しい観戦スタイルを実現します。



3 30種類のバラエティシート

- バラエティ豊かな観客席をスタジアム全体に設け、多様な観戦スタイルのニーズに応えます。



4 広島らしさでもてなす上質なVIPエリア

- 県産材をあしらい、広島地域性を感じられる洗練された内装でVVIP・VIPゲストを迎えます。
- ピッチに向かう選手達の姿をマジックミラー越しに観覧できるトンネルラウンジを1階に設けます。
- VIPラウンジやスカイボックスは、ノンゲームデー時にパーティーや会議室として利用できます。

